



2021 年度

「春学期授業形態別アンケート」集計結果報告書

2021 年 10 月

発行：法政大学教育開発支援機構 教育開発・学習支援センター

## 1. はじめに

新型コロナウイルス感染症の流行が依然として終息しない中、法政大学では引き続き一部の対面授業を再開しながらオンライン授業を実施してきました。このような状況下において、オンライン授業の印象や直面した困難、オンライン授業や対面授業を含む各授業形態の満足度・理解度・意欲などを把握し、今後の教育改善や学習支援に活かすことを目的として、教育開発支援機構教育開発・学習支援センターでは「授業形態に関する学生対象アンケート」を実施しました。アンケート実施期間は2021年7月19日（月）～7月31日（金）、アンケート対象者は全学部生・大学院生（通学課程の科目を履修している通信教育部生を含む）、調査方法はGoogleフォームを用いました。回答数は3,516名（日本語3488名、英語28名／回収率9.0%）となりました。

## 2. 回答者の属性

### 2.1 回答者の学年

回答者の学年別構成比は、次の表のようになります。1年生が33.5%、2年生が26.2%、3年生が18.4%、4年生が11.8%、大学院生が10.1%でした。下級生の回答割合が高い傾向にあります。

表 2.1 回答者の学年

学年	構成比
1年生	33.5%
2年生	26.2%
3年生	18.4%
4年生	11.8%
大学院生	10.1%
合計	100.0%

### 2.2 回答者の所属

所属別の回答数は、次の表 2.2（学部）および表 2.3（大学院、その他）となりました。

表 2.2 回答者の所属（学部）

所属	回答数
法学部	367人
文学部	373人
経済学部	412人
社会学部	361人

経営学部	326人
国際文化学部	155人
人間環境学部	154人
現代福祉学部	130人
情報科学部	138人
キャリアデザイン学部	101人
デザイン工学部	142人
理工学部	239人
生命科学部	115人
グローバル教養学部	46人
スポーツ健康学部	93人
合計	3,152人

表 2.3 回答者の所属（大学院、その他）

所属	回答数
人文科学研究科	82人
国際文化研究科	5人
経済学研究科	14人
法学研究科	6人
政治学研究科	5人
社会学研究科	8人
経営学研究科	16人
人間社会研究科	11人
情報科学研究科	11人
政策創造研究科	49人
デザイン工学研究科	24人
キャリアデザイン研究科	12人
公共政策研究科	38人
理工学研究科	29人
スポーツ健康学研究科	5人
法務研究科	12人
イノベーション・マネジメント研究科	29人
その他	8人
合計	364人

### 3. オンライン授業に関する印象

#### 3.1 オンライン授業の印象

春学期オンライン授業の意見について、「オンライン授業における、以下の各項目に対するあなたの印象はどうでしたか？」と尋ねました。そして、「そう思う」から「そう思わない」までの5件法による回答を集計しました。また、「そう思う」と「ややそう思う」の回答を肯定的回答として、図の右側となるように示しました。

図 3.1 より、最も肯定的回答の割合が高かったのは「Zoom 等の WEB 会議ツールを活用していた。」の 85.4% でした。一方で、最も肯定的回答の割合が最も低かったのは「学生間の意見交換がしやすかった。」であり、25.5% となりました。

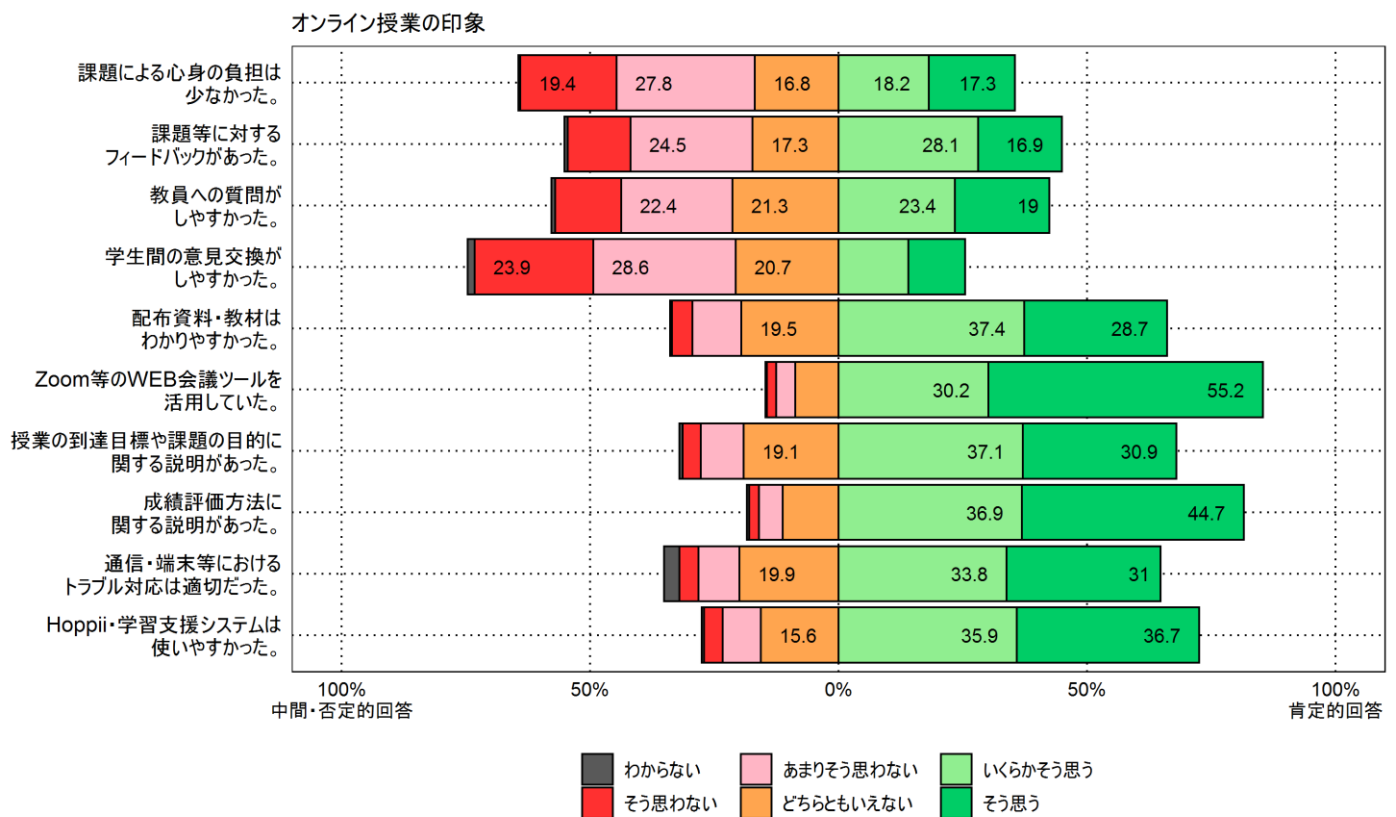


図 3.1 オンライン授業の印象

#### 3.2 オンライン授業の困難

「オンライン授業を受講するにあたり、以下の各項目における困難はありましたか？」という問いに対して、「ある」「ない」の2件法で尋ねました。そして「ある」の回答が図の右側となるように示しました。

図 3.2 より、困難があると回答された割合の多かった（40%を超えた）のは「学習意欲の維持」の 46.3%、「学習ペースの管理」の 40.1%、「交友関係」の 57.8% となりました。

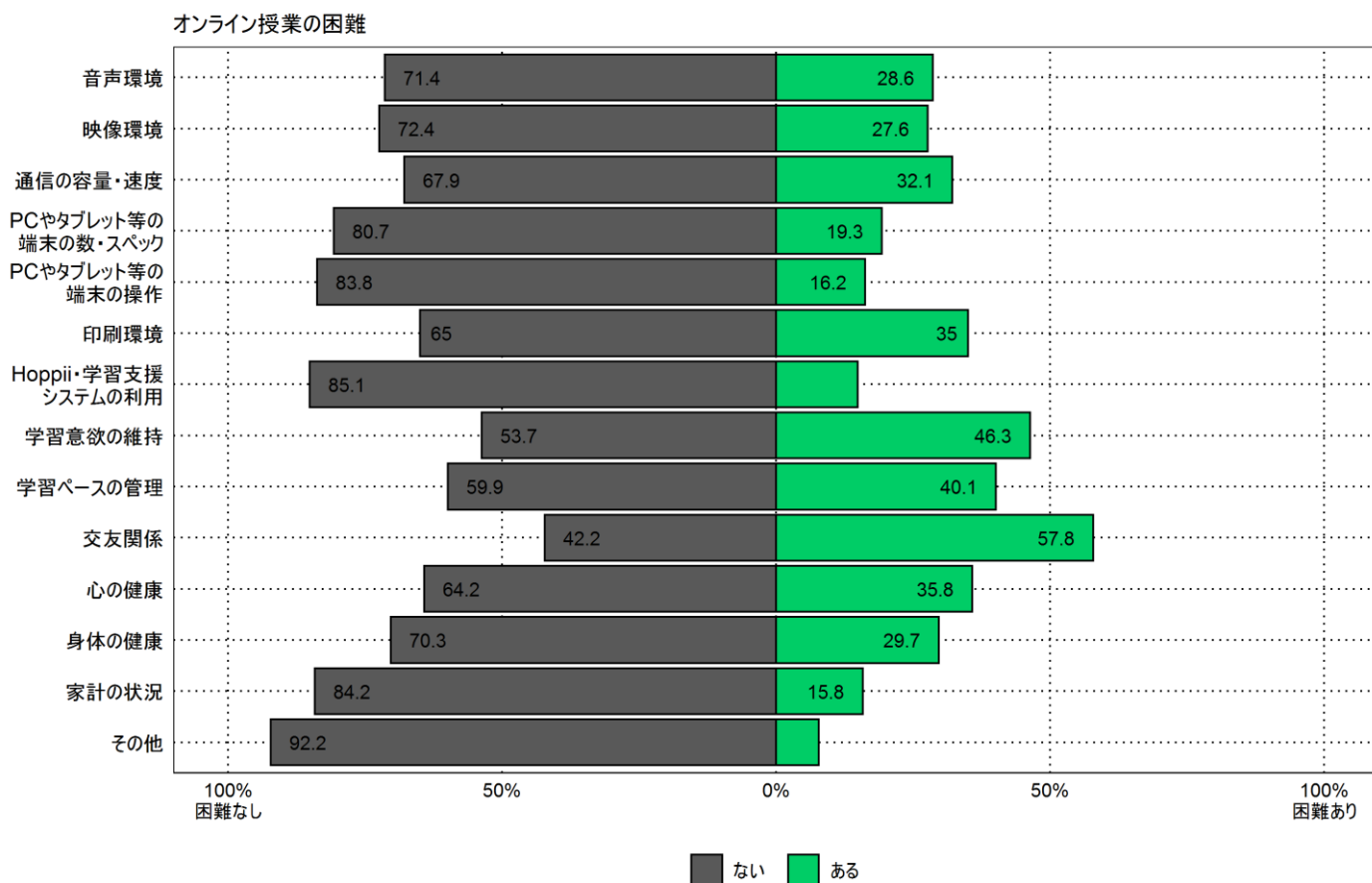


図 3.2 オンライン授業の困難

#### 4. 各授業形態に関する意見

オンライン授業や対面授業など、各授業形態を受講した際の「満足している。」「知識・スキル・考え方などを習得できた。」「意欲的に参加できた。」という意見について、「あてはまる」から「あてはまらない」の5段階尺度に「受講していない」をあわせた6つの選択肢で尋ねました。それぞれの授業形態は、「オンライン授業<リアルタイム配信型>」「オンデマンド授業<動画型>」「オンデマンド授業<資料型>」「ハイフレックス授業」「対面授業」となります。そして、「そう思う」と「ややそう思う」の回答を肯定的回答として、図の右側となるように示しました。

図 4.1 以降は、「満足している。」「知識・スキル・考え方などを習得できた。」「意欲的に参加できた。」の順に、各授業形態の集計を可視化したものとなります。そのとき、授業形態によって「受講していない」の割合が異なるため、「受講していない」を除いた集計結果もあわせて図示しています。そして「受講していない」を除外すると、対面授業と比較して他のオンライン授業などでは満足度や理解度・意欲が低くありませんでした。一方、図 4.4 より「知識・スキル・考え方などを習得できた。」についてオンデマンド授業<資料型>は低い傾向が明らかとなりました。

各授業形態について：満足している。

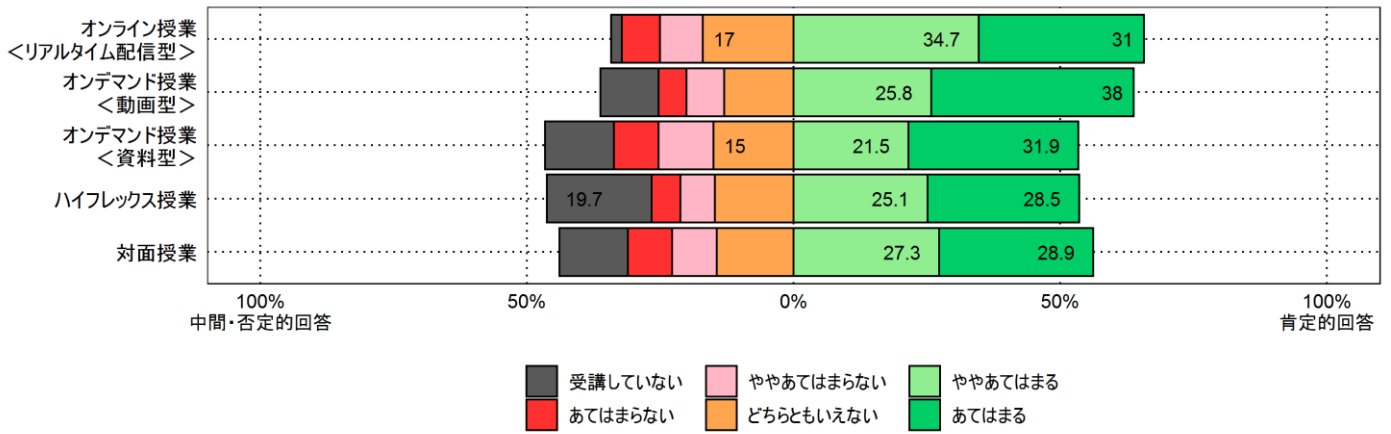


図 4.1 各授業形態について：満足している。

各授業形態について：満足している。

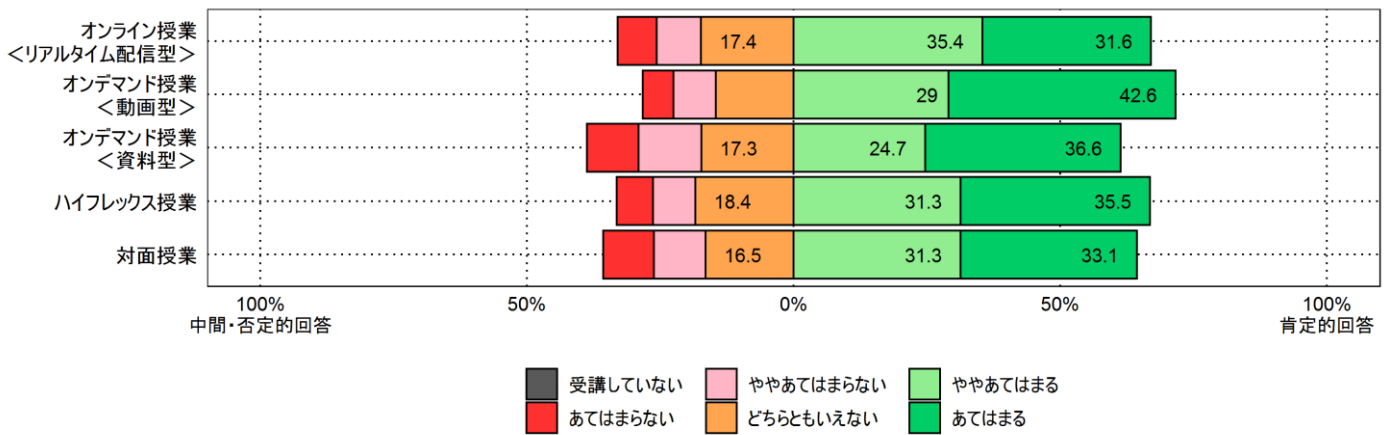


図 4.2 各授業形態について：満足している。（「受講していない」の除外）

各授業形態について：知識・スキル・考え方を習得できた。

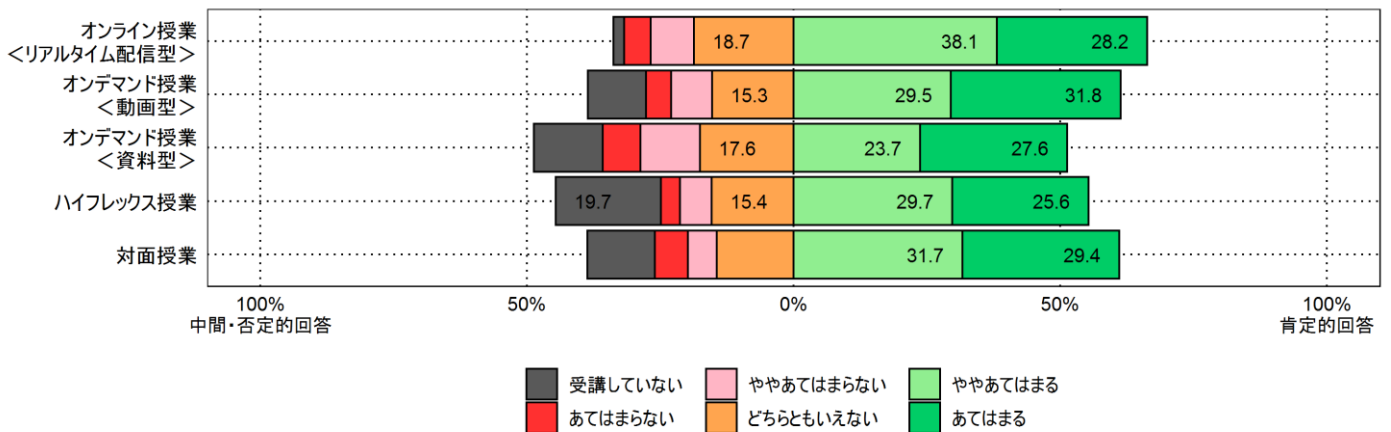


図 4.3 各授業形態について：知識・スキル・考え方を習得できた。

各授業形態について：知識・スキル・考え方を習得できた。

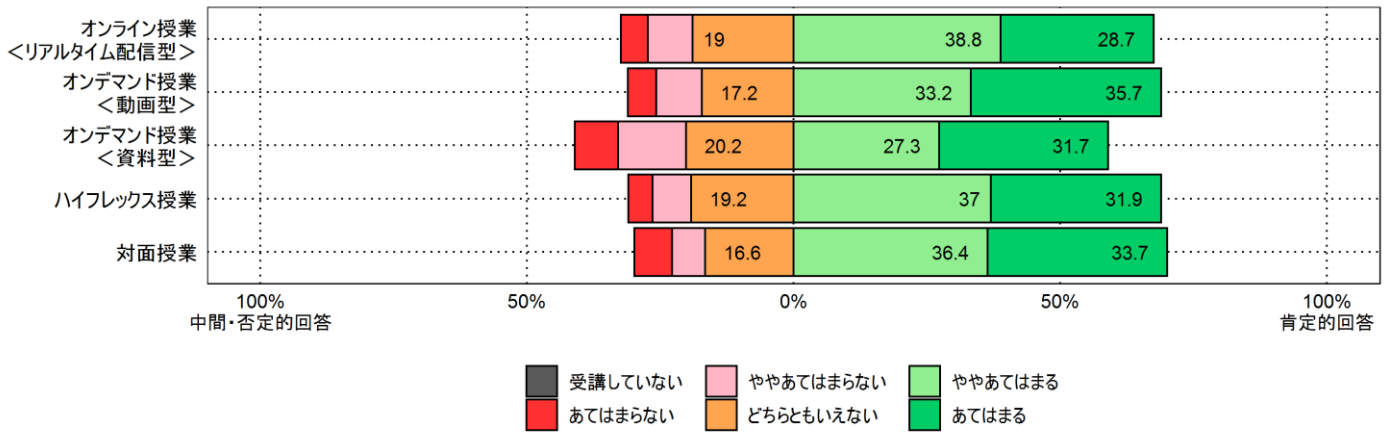


図 4.4 各授業形態について：知識・スキル・考え方を習得できた。（「受講していない」の除外）

各授業形態について：意欲的に参加できた。

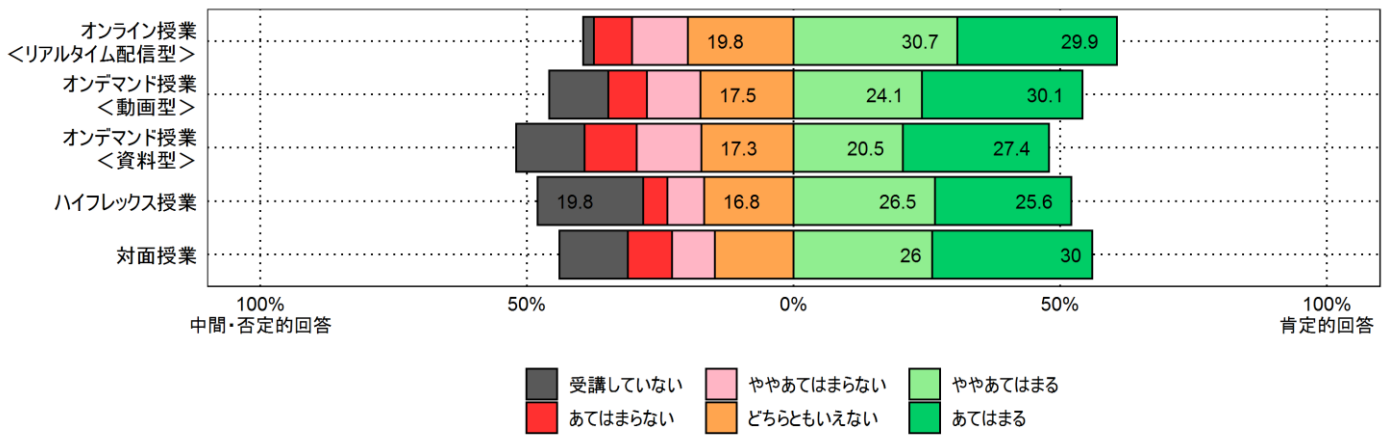


図 4.5 各授業形態について：意欲的に参加できた。

各授業形態について：意欲的に参加できた。

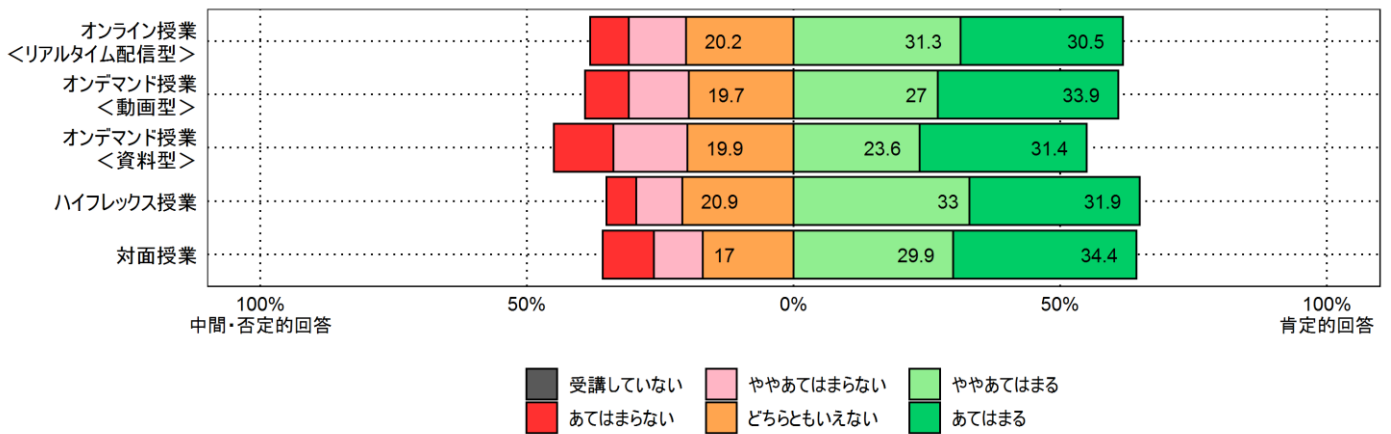


図 4.6 各授業形態について：意欲的に参加できた。（「受講していない」の除外）

## 5. オンライン授業と対面授業の希望割合

オンライン授業と対面授業について、「仮にコロナ禍が解消した場合、オンライン授業の割合はどの程度を希望しますか?」と尋ねました。そして科目種類別に「100% (すべてオンライン授業)」から順に「75%」「50%」「25%」「0% (すべて対面授業)」までの5件法による回答を集計しました。また、「100% (すべてオンライン授業)」と「75%」の回答を「オンライン重視」として、図の右側となるように示しました。

図 5.1 について、「講義 (語学)」と「講義 (語学以外・履修者 50 人未満)」はオンライン授業を希望する割合が似た傾向を示しました。そして、「講義 (語学以外・履修者 50 人以上)」ではオンライン授業を希望する割合が高く、特に「100% (すべてオンライン授業)」は約半数の 45.6% となりました。一方、それらと比較すると「実技」「実験」「演習・卒論」はオンライン授業を希望する割合が低く、対面授業を希望していることがわかりました。

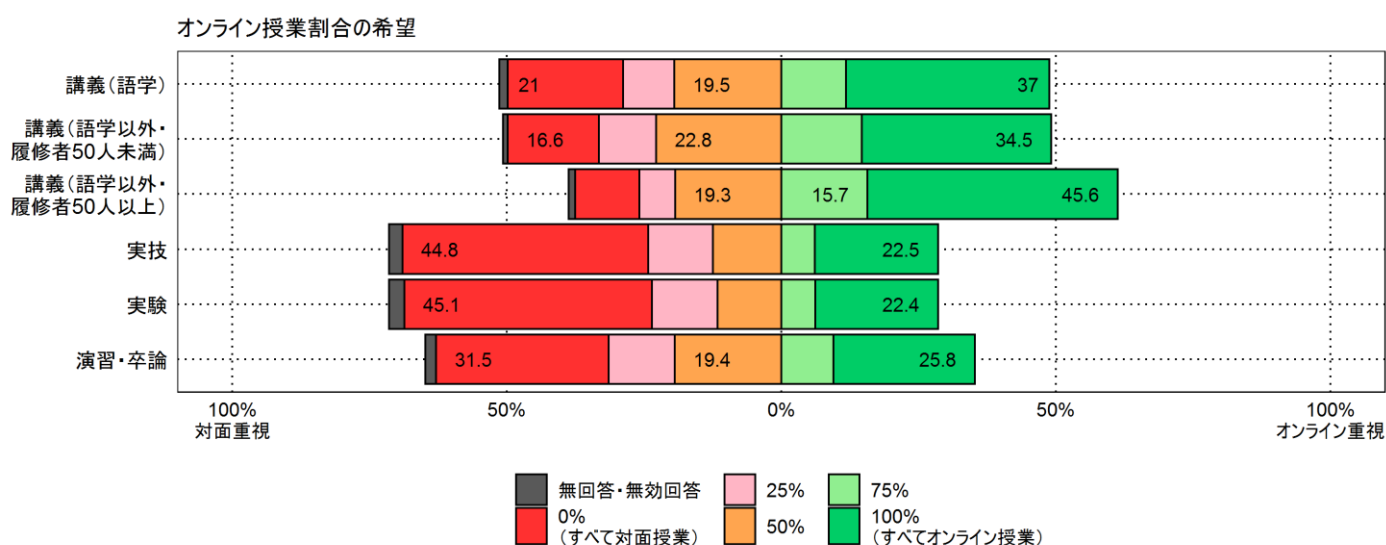


図 5.1 オンライン授業割合の希望

## 6. おわりに

新型コロナウイルスの感染流行をきっかけに、法政大学は対面授業を含めながら 2021 年度も引き続きオンライン授業を実施してきましたが、その質の向上は喫緊の課題です。教育開発・学習支援センターの目的は、「ファカルティ・デベロップメント (FD) を中心に、本学での主体的な教育改善と学習を効果的に支援すること」であり、オンライン授業の質の向上についても、有益なサポートを行ってまいります。今後とも、教育開発・学習支援センターの活動へのご協力をどうぞお願い申し上げます。

お問い合わせ： 法政大学教育開発支援機構教育開発・学習支援センター (<http://www.hoseikyoku.jp/lf/>)

事務局 学務課教育支援課 Tel: 03-3264-9040 E-mail: kyoiku@hosei.ac.jp